

文教厚生委員会会議録（要点筆記）

平成25年 4月 5日（金）

午後1時30分 開 会

○小出義一委員長

ただ今より、文教厚生委員会を開会します。閉会中の調査事項についてを議題とします。

まず、始めにその他ということで、先日子育てサロンの運営者等の意識調査の結果ということで資料を配布していただいております。当局からこれについて、補足説明を求めます。

○江原子育て支援課長

【資料に基づき説明】

○小出義一委員長

ただ今の説明に対しまして、ご質疑ありませんか。

無いようですので、委員会報告（案）についてを議題とします。

先日、報告（案）を送付させていただきました。皆さん目を通していただいていると思いますので、ご意見を伺いたいと思います。

○中村宗雄委員

この委員会報告ですが、先日の委員会審査の委員長報告が3常任委員会とも長いという話の中で、分量は例年に比べてどうなんですか。

○小出義一委員長

長さはあまり意識せず、流れを意識しました。全体の構成としては、最初に地域で支える子育て支援が必要という状況と本市が何をどこまでやっているのかということが1ページ目。そのような背景があって委員会がこのテーマを選んだ。そこから市内2団体の代表の方とお話しさせていただいて、どこが問題なのかを感じとりながらアンケートの必要性を見出してアンケートを取ってもらった結果ということで、具体的に何が問題かを把握したかということまでが2ページ目です。3ページは訪問先のこと、あまり長すぎることはないようまとめました。皆さんからいただいたご意見が4ページ目から5ページ目。あと最後がまとめです。一応、流れとして展開していくためには必要ということで結果的にこの長さになりました。

○中村宗雄委員

時系列で追って行くところなるという話の中で、半田市の現状と課題があり、いろいろ意識調査がこうだったとある中で、そのことの中で視察地が選ばれている訳じゃないですか。それが2ページ目の23行目、「市民の方々の声や意識調査などを含めた本市の状況を勘案し」、この「勘案し」一言でまとめてしまうのは、僕は違うと、的確についていく部分とそうでない部分を分けていかないと、この状況や課題の中で何が必要だと思ったから、いろいろな視察地へ行ったという位置づけを勘案しというのは、ここは何のために視察地へ行ったかということ、明確に書く必要があるということを感じたのが1点と、各視察先の状況があって、委員の意見があって、最後に政策提言になっていると思いますが、提言の部分が具体性に欠けるといえるか、一般的な言葉でまとめている。これを提言されても当局側が実際何をやればいいのか、もう少し具体的に提言しないと難しい。例えば、提言が3点ありますが、その中で地域における子育ての支援と推進とかは全然新しくもなく、常に言い古された言葉なのですが、その中で視察先の具体的にこれをやるとか、具体性に欠けていると、どこで見てきて、何のことを示しているのか、視察というのは、先進地で見えてきたものを取り入れて、

実施、再現するものだと思いますが、そういうところが綺麗な言葉でまとめられていて、きっと当局は分からないんじゃないのかと。その2点というか3点ありました。先ほど分量の話に触れたのは、先ほどの予算の委員会審査の委員長報告が概ね1委員会30分以上やっている中で、言葉が多いのが丁寧ということでは無いと思います。結局、何が言いたいかという部分が明確であるかどうか。これを聞いた人が半田市の状況がこういう状況で、委員会はこういう所に問題意識を持って、こういう所へ見に行って、その中で何を感じたからこの政策提言をしたということを簡潔にまとめてあげれば、分量は必要無いと思いますが、分量が時系列で必要ならば、まとめる所だけはしっかり言うておかないと「勘案し」という言葉で逃げてしまったり、抽象的な政策提言をすると結局何も分からないという話になってしまうと感じましたので、よろしくお願ひします。以上です。

○小出義一委員長

とりあえず皆さんから意見を伺って整理しながら、議論してまいりたいと思います。
ほかにありませんか。

○山内悟委員

別の委員会になりますけれど、生活支援の方の、若干長いと思っていましたが、それと同じだとすると、これもほとんど同じくらいの分量なので整合性からいうと別に良いですが、例年に比べると確かに長いと思います。短くする所があるなら皆さんの意見を聞きながら、具体的にこうやってまとめたらと聞けば良いと思いますが、私は読ませてもらって、基本的にはこれで良いと思っています。中村委員から指摘のあった提案の所で具体性がということなら、各委員の意見がかなり漏れなく書いてあるので、その中でこれだけはこの所があればそれをピックアップしても良いと思いますが、中村委員の方でこれを入れたらという提案をいただければ良いと思っています。私は、てにおはだけ気がついたので、言わせていただきます。1ページの4行目の「核家族化の進捗や」と書いてありますが、核家族化の進捗というのが、分かりにくいと思うので核家族の進展が増大にしたらと思います。それから10行目の「名鉄半田駅」を「名鉄知多半田駅」へ。もう1点、4ページの11行目、「妊婦」と書いてありますが、この時の委員会を振り返っていないので、分かりませんが妊婦で正しいのか、妊産婦ではないのかという気がしました。

○江原子育て支援課長

児童福祉法的なところで言えば、確かに妊産婦なのかなと思います。

○藤田子育て支援部長

何を指しているかという所で、妊娠中という所からであれば妊婦で良いと思います。妊産婦というと生まれた後、生まれた子どもと一緒にという意味なので、生まれる前からサロンに出かけてそこから友達づくりという意味で妊婦と私は理解しましたが、この意見を言っていた方がどの思いで言っていたかを使い分けをしていただければ良いと思います。

【「妊婦」と発言するものあり】

○小出義一委員長

「妊婦」とします。

ほかにありませんか。それでは、後でまた気がついた点があればご指摘いただきたいと思っています。しばらく休憩します。

休憩 午後 1時45分

再開 午後 2時15分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

休憩中にいろいろな意見をいただきまして、報告案の中で1ページ目の32行目から2ページ目の1行目まで、地域の団体の方と意見交換を箇条書きに書き換えることが1点。2点目として委員の意見が14項目にわたって4ページから5ページに載せてありますが、まとめの中で調整できて重複があるものについては、削除するというので整理させていただきます。3点目、拠点づくりのつくり方の中で高齢者の方も含めた交流拠点を作るというような文言を提言の2点目の所に加えます。それから、1ページ目の7行目、「核家族化の進捗」という言葉を使っていますが、「核家族の増大」という言葉に差し替えます。もう1点、1ページの10行目、「名鉄半田駅前」を「知多半田駅前」に修正したいと思います。以上、5点の修正をしまして、皆さんに配布させていただきます。それをご確認いただいて、了解いただければそのままということで、もし要請があればもう一度委員会を開催するというので進めたいと思います。

それでは、閉会中の調査事項についてをこれで終わります。

その他を議題とします。何かありましたらご発言をお願いします。

○山内悟委員

今日いただいた、子育て応援ハンドブックは前回のものとどこか変更したところはありませんか。

○江原子育て支援課長

前年度と比べて今年度は、見やすさ、項目の並べ替えをさせていただきました。そこが主な変更点です。

○山本博信委員

立派な冊子が出来たと思いますが、広告料はいくらもらえたのでしょうか。それから、広告主の選定ですが、どのように選定をしているのか教えてください。

○江原子育て支援課長

半田市が市有財産の活用ということで、要綱を作ってやっていますが、広告収入を得ることが一義的な目的ですが、何度か事業者の方にも子育ての中に入って来て欲しいという思いで、私どもの方から積極的に営業させていただいて、今回今までに無かった事業者の方達にも入っていただいたというのが結果です。全体的には22社くらいで全体の広告収入は30万円弱くらいだったと思います。

○山本博信委員

22社ということですが、応募された会社は全部入っているということによろしいですか。

○江原子育て支援課長

はい。そうです。

○小出義一委員長

ほかにありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これで文教厚生委員会を閉会します。

終了 午後 2時22分